

令和8年2月9日

関係各機関の長殿

徳島大学フォトニクス健康フロンティア研究院  
最高経営責任者 松木 均〔公印省略〕

フォトニクス健康フロンティア研究院（IPHF）栄養学研究領域 特任助教の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では慢性炎症研究、光工学、栄養学、情報科学の4つの柱となる研究領域（イニシアティブ）から構成される研究特区「フォトニクス健康フロンティア研究院（IPHF: Institute of Photonics Human Health Frontier）」を令和7年5月に設置しました。これに伴い、IPHF 栄養学領域において新設予定の研究室に配属予定の特任助教を募集します。

つきましては、ご多忙中のところ恐縮ですが、貴学（機関）または関係方面に適任者がおられましたら、下記によりご推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、候補者の方には、選考の過程において講演、面談等を実施させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おき願います。

敬具

## 記

1. 募集人員： 特任助教 1名
2. 任期： 採用日から令和12年3月31日まで（単年度契約で審査の上、更新）
3. 所属： フォトニクス健康フロンティア研究院（IPHF）
4. 専門分野： 栄養学、代謝学
5. 求める人材・業務内容：

本公募では、IPHF 栄養学領域において新設予定の研究室（PI 平島一輝 独立准教授、令和8年4月着任予定）に配属予定の特任助教を募集します。当研究室では、ミトコンドリアに着目し、栄養代謝の観点から、がん、糖尿病、慢性炎症を含む各種疾病に関する分子機構の解明と、新たな診断・治療法への応用および開発を目指します。

細胞培養系、分子生物学実験系、生化学実験系、動物実験系、病理組織学実験系に加え、各種オミクス解析を組み合わせて、ミトコンドリアが関与する生命現象を多角的に解析します。これら以外の実験系についても、共用機器を利用することでアクセス可能です。実験手法を横断的に学びながら、自身の研究の幅を広げたい方に適した研究環境と考えています。

IPHF 内の他分野（光工学分野、慢性炎症分野、情報科学分野）との融合研究を積極的に推進するため、多角的な視野を持ち融合研究を積極的に進められる方を歓迎します。

本研究室は新規立ち上げの研究室であり、オープニングメンバーとして研究テーマや研究体制構築に積極的に関与していただくことを期待しております。研究内容や方針について、応募前のカジュアルなご相談も歓迎いたします。
6. 応募資格：
  - 1) 博士の学位を有する者
  - 2) 論文発表経験を有し、研究を主体的に推進できる者
  - 3) 他の研究者と建設的かつ的確なコミュニケーションが取れ、異分野融合研究を積極的に推進できる者
7. 給与等： 年俸制（国立大学法人徳島大学年俸制適用職員給与規則による）
8. 採用予定時期 令和8年7月1日（水）以降の早い時期

9. 提出書類：

- 1) 応募書類様式 1通
  - 2) 参考資料（主要論文のPDFまたは別刷り） 1揃
  - 3) 推薦状 1通
- ※「応募書類作成要領及び様式の記載例」参照  
※ 推薦状は自由書式、推薦者の氏名および電話・電子メールでの連絡先を明記すること、推薦者に問い合わせることがあります。

10. 選考方法：

- 1) 書類審査
- 2) 講演会・面接：（講演会・面接に係る旅費は応募者負担）をお願いする場合があります。書類審査合格者のみに書類審査結果を通知しますのでご了承ください。

11. 研究内容照会先： 岐阜大学高等研究院 担当：平島 一輝（本学へ令和8年4月より着任予定）  
e-mail: kheishima@tokushima-u.ac.jp

12. 応募方法： 指定の応募書類様式に記入の上、推薦状を除く指定の提出書類をPDF形式でまとめてメールで提出ください。その後、推薦状を含む全ての提出書類の原本を簡易書留で郵送ください。応募書類を入れた封筒には「フォトンクス健康フロンティア研究院（IPHF）（栄養学研究領域）特任助教応募書類在中」と朱書ください。

13. 書類送付先： 〒770-8501

徳島市新蔵町 2 丁目 24 番地  
徳島大学研究・産学連携部 研究・産学企画課 J-PEAKS 担当  
e-mail: j-peaks@tokushima-u.ac.jp  
Tel:088-615-2328 Fax:088-615-2394

14. 応募締切日：令和8年5月18日（月）17時必着  
なお、適任者が決まり次第締め切ります。

15. その他：

- 1) 本公募文書（応募書類作成要領を含む）については、下記のホームページよりダウンロードしてください。
  - ・徳島大学ホームページ(<https://www.tokushima-u.ac.jp/>)
  - ・研究者人材データベース(<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>)
- 2) 徳島大学フォトンクス健康フロンティア研究院（IPHF）の教員選考においては、国籍、性別およびハンディキャップ等による差別を排除し、真に優秀な人材を採用すべく、公平な選考を行います。
- 3) 徳島大学は、様々な取組により男女共同参画を推進しており、教員公募においても女性研究者の積極的な応募を歓迎します。
- 4) 提供していただいた個人情報、採用者の選考及び採用後の人事等の手続を行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

# 応募書類作成要領

## 応募様式

別添の応募書類様式を用いて下記の必要事項を記入すること。

### 1. 履歴書

- 1) 書式は、A4判(縦)横書きで作成すること。(別紙「様式1履歴書作成例」参照)
- 2) メールアドレスは、選考の過程においての諸連絡に使用するので正しく記載すること。
- 3) 連絡先は、電話、郵便等での連絡先とし、勤務先又は自宅のいずれかを記載すること。
- 4) 学歴は、高等学校卒業以降、大学卒業又は大学院修了までの学歴を全て記入すること。
- 5) 研究生などの履歴は、職歴欄に記入すること。
- 6) 職歴は、大学卒業又は大学院修了以降の履歴を、空白期間のないよう簡潔に記入すること。
- 7) 職名、所属講座などの記載方法は別紙「履歴書作成例」に従い、重複期間のあるものには説明を付すこと。
- 8) 所属学会は、全国規模の学会のみを記載すること。
- 9) 学術賞等は全国規模の学会賞等を対象とし、大学内での受賞等は対象外とする。
- 10) 「賞罰」には、刑事罰のみではなく、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。
- 11) 外国出張等は、その期間が2ヶ月以上の外国出張、留学等について記載すること。また、出張等先、当時の身分は英語等による原文で記載すること。
- 12) 業績内訳は、「2. 業績目録 2)の①～⑩」に記載した事項について集計し記載すること。
- 13) 業績内訳の(論文数)欄については総数を記載し、併せて筆頭、セカンドオーサー、コレスポンディングオーサー、ラストオーサー、単著をそれぞれ内数で記載すること。その場合、単著は筆頭に含めないものとする。
- 14) 業績内訳の(学会発表回数)欄については、演者を( )により、内数で記載すること。
- 15) 本学採用後に、重大な経歴詐称が判明した場合には、採用取消や懲戒解雇等の対象となるので、本履歴書は正確に記入すること。

### 2. 業績目録(研究業績)

- 1) ①英文原著(学会のabstract/proceedingsは除く)、②和文原著(学会のabstract/proceedingsは除く)、③英文総説、④英文著書、⑤和文著書・総説、⑥国内での一般口頭及びポスター発表、⑦国際学会での一般口頭及びポスター発表、⑧国際学会での招待講演及び特別講演、⑨全国学会での招待講演及び特別講演、⑩その他の順に記載し、それぞれに通し番号を付すこと。
- 2) 英文原著論文のうち、主要な論文の番号に●印を付すこと(3編以内)。主要論文については、参考資料としてPDFをメールで提出し、別刷りあるいはPDFの印刷物を郵送すること。
- 3) 現在印刷中の論文については、その旨を記載すること。

### 3. 外部資金獲得状況、職務上の実績に関する事項、これまでの研究の概要、今後の研究に関する抱負について、別添の応募書類様式を参考に作成すること。

### 4. 推薦状

任意様式にて作成のこと。ただし、推薦者の氏名および電話・電子メールでの連絡先を明記すること、推薦者に問い合わせることがあります。

※送付された書類は、返却しないので、重要な書類についてはコピーを提出すること。